

長野市観光振興計画（案） 【概要版】

商工観光部観光振興課

(1) 計画の目的

長野市観光振興計画は、観光客に価値を提供するために、本市の観光が何を指し、どのような取組みを行うべきかをまとめたものです。

本計画に基づいた事業の実施を通じて、大きく以下の2点の実現を目指します。

● 本市経済の活性化の実現

観光は経済活動です。訪れてもらうだけではなく、楽しんでもらいながら本市経済の活性化につなげる事業を実施していきます。

● 地域コミュニティの活性化

観光客が訪れ、地域の人々と交流することは、ときには地域に希望や生きがいを生み出します。これまで観光客が訪れなかった地域にもスポットをあてて、観光客との交流を生み出す事業を実施していきます。

(2) 計画の位置付け・期間

本計画は、「第五次長野市総合計画」の下位計画であり、それに示される観光振興施策をより具体化・実現化するために策定しています。計画期間は平成29年度から平成33年度までの5年間とします。

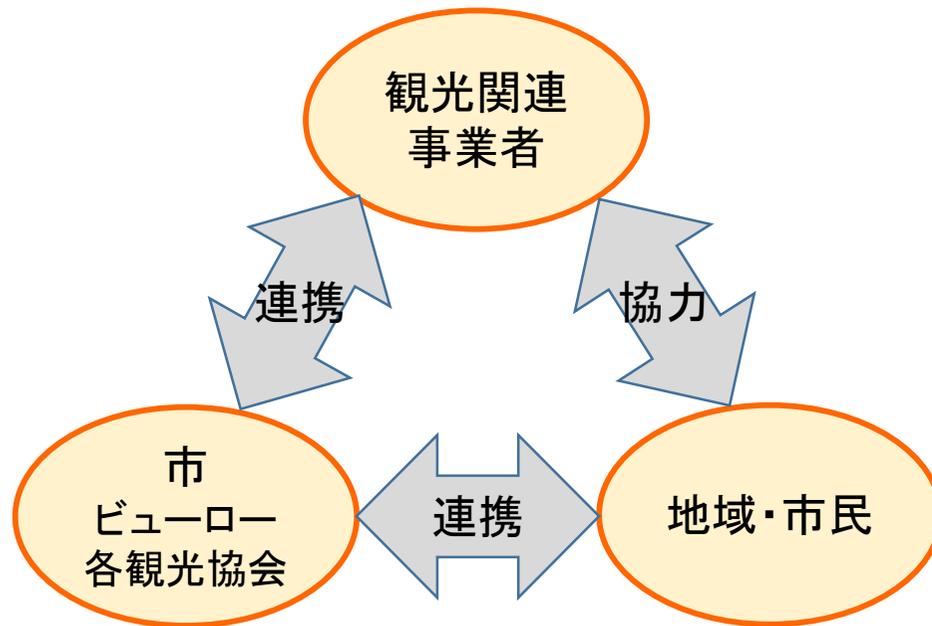
● 計画期間平成29年度～平成33年度の主なトピックス

● 第五次総合計画における観光振興の方針
政策1: 魅力を活かした観光の振興
施策1: 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進
施策2: インバウンドの推進
施策3: コンベンションの誘致推進

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
信州デスティネーションキャンペーン	アフターデスティネーションキャンペーン		東京オリンピック・パラリンピック	善光寺御開帳 戸隠神社式年大祭
平昌オリンピック・パラリンピック				

(3) 計画に関わる主体とその役割

本計画の目的として掲げている地域経済や地域コミュニティの活性化を実現するために、各関係者が主体的に関わるのが重要です。関係する各主体の役割として、以下を想定しています。



- **観光関連事業者※**

経済活動の主役として、観光客が楽しめ、満足度が向上するモノやサービスを開発、提供する役割

※ 観光関連事業者: 観光に直接関わる事業に加え、農業者など、間接的に観光に関わる事業者を含む

- **地域・市民**

地域づくりの主体として、自分たちの暮らす地域に関心を持ち、おもてなしの心を持って観光客を迎え入れる役割

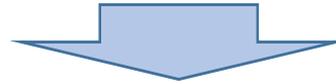
- **市・ながの観光コンベンションビューロー各観光協会**

各関係者間と連携を図るとともに、積極的に活動する観光関連事業者や地域の取組に対して、支援する役割

2 本計画の目標

(1) 計画の目標

「ながのファン」を増やすことで、本市経済と、地域コミュニティの活性化を目指す



計画の総合的な成果を測る目標値として、「観光による地域への経済波及額」を設定します。

計画の目標値：観光による地域への経済波及額

10%増となる1,381億円（平成33年度）

（億円）

基準値	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1,256（H27御開帳） 744（平常年）	759	774	789	804	1,381

算出方法：対面調査により市内での観光消費額を算出、H27年度の市内入込客数と、H22年度～H26年度の市内入込客数の平均値をそれぞれ用いて、H23長野県版産業連関表をもとに算出。
H29年度～H32年度は平常年基準値をもとに毎年2%増、H33年度はH27年度から10%増にて算出。

この目標値を達成するため、各政策にKPIを設定・・・観光資源の認知度、観光入込客数、市内宿泊者数（外国人含）、コンベンション等参加者数、一人あたり観光消費額、満足度、リピート率

(2) 目標達成のための実施方針

① 観光客が楽しめるコンテンツの開発／地域資源の磨き上げ

- 善光寺界隈、戸隠、松代を重点地域とする
市内の代表的な観光地で重点的に施策を展開し、市内周遊型コンテンツの開発を進めていきます。
- 観光客の満足度を高めリピーターを確保
地域資源の磨き上げによる多様な観光コンテンツを創出し、「ながのファン」を増やします。
- インバウンドの推進
台湾、タイ、オーストラリアなどを対象とした誘客活動を展開するとともに、Wi-Fi整備・案内表示等の多言語化などの受入環境整備を進めます。

② 受入体制の充実

- 観光事業者や観光関連団体との連携強化
地域の観光事業者が主体的に活動しやすい仕組みをつくり、観光客のニーズを捉えたモノやサービスの開発、提供体制整備を行い、観光消費額の向上を目指します。
- おもてなし力の向上
事業者や地域、市民誰もが観光客を快く迎え入れるためのおもてなし意識の一層の醸成に取り組みます。

③ 本市の強みを活かすための方針

- 広域連携の推進とハブ機能の強化
県内外の自治体や関係団体等と連携を強化し、広域プロモーションや周遊ルートの開発を進めていきます。また、本市を拠点とした観光スタイルも発信していきます。
- 特色あるコンベンションの誘致促進
スポーツや文化芸術など、特色あるコンベンション等の誘致を推進していきます。

3 計画の構成

◎本計画の構成は、
「基本戦略」としての政策体系と
「重点戦略」としてのアクションプランの二本柱で構成します。

基本戦略:政策体系

- ・計画期間中に取り組む基本的な事業を目的別に
取りまとめたもの
- ・市、ながの観光コンベンションビューローが中心
となり、関係団体等と連携して事業を実施

重点戦略:アクションプラン

- ・複数の関係者が協力し、一体となって重点的に
取り組むプロジェクト
- ・「善光寺界隈」、「戸隠」、「松代」、「中山間地域」
の4つのアクションプランを立案・実施
- ・観光関連事業者や地域が主体となり、事業を実
施

4 政策体系

(1) 政策・事業体系一覧

政策体系では、今後5年間で市やながの観光コンベンションビューローが中心となって取り組む基本的な施策を、5つの政策の柱をもとに取りまとめています。

庁内関係課及び関係機関と積極的に連携して実施します。

総合計画 施策	政策	施策	事業
施策1 魅力を活かした観光の振興	1 観光地域づくりの実践	1-1 観光情報の効果的な発信	1-1-1 共通のコンセプトに基づく観光情報の発信
			1-1-2 ターゲットに向けた効果的な情報発信
		1-2 地域資源の磨き上げによる魅力向上支援	1-2-1 「長野市ならではの」の食事やお土産(飲食物)の開発支援
			1-2-2 市内滞在時間延長のための善光寺界隈、戸隠、松代を起点とした周遊コンテンツ開発
			1-2-3 スポーツや文化芸術、文化財などを切り口としたコンテンツ開発
			1-2-4 未活用の地域資源を活かした新しいコンテンツ開発支援
		1-3 観光都市を実現するための人材育成・体制整備	1-3-1 観光リーダー育成支援
			1-3-2 観光関連事業者間連携・受入体制構築支援
			1-3-3 おもてなし意識の醸成
		2 広域連携とハブ機能の強化	2-1 広域連携による誘客活動の推進
2-1-2 ハブ機能強化に向けた長野駅観光情報センターの強化検討			

総合計画 施策	政策	施策	事業
施策2 インバウ ンドの推 進	3 地域資源に根ざしたインバ ウンドの推進	3-1 インバウンド推進のため のプロモーション・コンテンツ開 発	3-1-1 ターゲット市場への情報発信力の強化
			3-1-2 外国人観光客が楽しめる観光コンテンツ開発
			3-1-3 広域連携によるコンテンツ開発・プロモーションの 実施
		3-2 外国人観光客受入環境 整備	3-2-1 主要観光地・主要施設、主要観光コンテンツの多 言語化促進
			3-2-2 主要観光地におけるWi-Fi環境整備の検討
		3-3 インバウンド対応人材の 育成	3-3-1 外国人観光客受入意識の向上
3-3-2 インバウンド専門人材育成支援			
施策3 の誘致推 進 コンベン ション	4 特色あるコンベンションの 誘致促進	4-1 コンベンション誘致強化	4-1-1 スポーツ・文化芸術などに関連するコンベンション 等の誘致活動
			4-1-2 コンベンション等参加者への観光情報の発信
		4-2 フィルムコミッション強化と 観光への活用	4-2-1 ドラマや映画の舞台となるような作品の誘致
			4-2-2 これまで撮影されたドラマや映画情報のPR
5 計画の効果的な実行	5 計画の効果的な実行	5-1 関連情報収集、施策評価 の実施	5-1-1 統計情報の定期的収集とそれに基づく事業評価
			5-1-2 定期的な事業の見直し
		5-2 庁内・関係機関との連絡 調整・事業コーディネート	5-2-1 関係者と連携した事業実施に係る進捗共有

(2) 事業の展開

政策1：観光地域づくりの実践

観光振興と地域づくりとを一体的に進め、「ながのファン」を獲得するために、観光情報を効果的に発信、観光客が楽しめるコンテンツ開発、地域資源の磨き上げ、観光事業に携わる人材の育成などを行っていきます。

政策2：広域連携とハブ機能の強化

本市の特徴でもある、首都圏、関西圏へのアクセス性の良さを活かして周辺自治体等との連携強化を図り、広域周遊のためのプロモーション、コンテンツ開発に取り組みます。また本市を拠点とした、広域周遊観光のスタイルの確立を目指します。

政策3：地域に根ざしたインバウンドの推進

今後も拡大が予想されるインバウンド市場に対して必要な対策を講じるため、関係自治体(金沢市、松本市等)との連携を強化し、外国人観光客にとって魅力的な観光コンテンツの開発、受入環境整備、広域周遊ルートの開発に取り組みます。

政策4：特色あるコンベンションの誘致促進

市内にある、オリンピック関連施設や長野市芸術館等を活用し、スポーツや文化芸術などに関連するコンベンション誘致を積極的に進めます。また、コンベンション参加者の市内観光を促進します。

政策5：計画の効果的な実行

計画を着実に実行し、大きな事業効果を得るためには、定期的に状況を把握し、改善につなげる必要があります。そのため、庁内各課、関係機関等との情報共有を密にし、これまで以上に進捗管理を強化していきます。

(1) アクションプランの目的

アクションプランは、観光客が楽しめる具体的なコンテンツを観光関連事業者や地域が中心となって生み出し、ながのファンを創出するための取組みです。関係する複数の者が、同じ目標に向かって取り組むことで、本計画の実行性を高めます。

(2) アクションプランの概要

	プラン名	実施により目指すこと	想定される実施主体
1	善光寺・中心市街地まち歩き観光推進プロジェクト	まち歩きを楽しめるコンテンツ開発により、善光寺周辺の滞在時間延長	善光寺周辺の商店・飲食店などの事業者
2	上質な魅力を活かした、戸隠宿泊型観光促進プロジェクト	日帰りではなく宿泊客の増加により、ゆったりとした滞在型観光地としての認知向上	観光協会／飲食店・宿泊事業者／観光施設など
3	歴史・文化を堪能できる「着地体験型」コンテンツによる松代観光地域づくりプロジェクト	松代地域固有の歴史や文化を体験できるコンテンツの充実による地域の観光消費額の増加	松代観光推進機構／周辺商店・飲食店などの事業者
4	日本の原風景を満喫する、中山間地域の魅力発掘・コンテンツ開発プロジェクト	中山間地域の自然を活用したアクティビティや田舎暮らしを味わってもらうことによる、観光客数の増加	観光協会／事業者／支所／住民自治協議会

本計画には、各プランについて「実施すべきテーマ・目的・方針」を記載します。具体的な実施内容や予算の検討については、アクションプランを実施する各地域の観光関連事業者等が、中心となって検討します。